

ヒヤリ・ハット事例

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
1	一般道路で (門前仲町)	片側三車線の道路を走行中	前車が、何もないところで突然急ブレーキを掛け、ハザードランプを点けて左車線に寄り、停車した。	車間距離を十分にとっていた為、事故にはならなかったが、いつ何があるか分からないので、常に周囲の状況を確認しておく。
2	一般道路で (新橋)	細い一方通行道路を走行中	歩行者が、急に自車の目の前を横切った為、慌ててブレーキを掛けた。	いつ事故になるかも分からないので、常に防衛運転を心掛ける。
3	現場で	鍵を預かり、扉を開けて廃棄物の収集作業中	鍵を差込口に差したまま作業を行い、帰りに抜き忘れそうになった。	すぐに対処できたから良かったが、鍵の抜き差しは確実に行う。
4	仕分け現場で	トラックの誘導中	ダンプのあおりを開けた時に、大きなコンクリートがらが落ちてきた。	幸い怪我はなかったが、一人で作業を行わず荷の積み方などをよく確認し、すぐ避けられる場所で慎重に開閉する。
5	現場で	仕分け作業中	コンボ（ハサミ）で掴んだ廃プラが、跳ねて当たりそうになった。	重機の近くでは作業をしない。
6	自社地下室で	鍵を閉めに回っている時	地下室に通じる階段を、照明を点けずに下りようとしたら、足を踏み外しそうになった。	暗がりでは必ず照明を点け、気持ちにゆとりを持ち、急がず焦らず行動する。
7	一般道路で (青戸)	交差点の信号待ちをしている時	信号が青になり発進しようとしたら、前車が急ブレーキを掛け、衝突しそうになった。	前車との車間距離は十分にとり、周囲の状況をよく確認する。
8	一般道路で (品川)	三車線道路の右側車線を走行中	中央を走行中のトラックが、突然車線変更してきた。ある程度予測していたので、ブレーキを踏み対処できたが、危うく接触事故になるところだった。	周囲の状況をよく把握し、何かあればすぐ対処できるような運転を心掛ける。
9	一般道路で (代々木)	信号待ちの間に、日報記入をしている時	ブレーキを踏んでいたが、踏込みが甘く少し下り坂になっていた為、前に進んでしまい前方のトラックへ追突しかけた。	運転中は、信号待ちの場合であっても気を抜かない。停止時には、サイドブレーキを引く。
10	一般道路で (三軒茶屋)	商店街をトラックで走行中	子供連れの親子が、自転車で飛び出して来た。	人通りの多い道では、いつでも停止できる速度で走行する。左右後方の安全確認を怠らない。
11	一般道路で (港区)	狭い路地から、中央分離帯のある大通りへ合流しようとした時	一方通行道路で左側からは車が来ない為、右方向のみを確認し合流しようとしたら、左側から車道を逆走していた自転車と接触しそうになった。	決め付けた考えを持たず、どのような道でも左右の安全確認は怠らない。
12	会社前の通りで	洗車場より車庫へ移動しようと、一旦道路へ出て右折しようとした時	左側から来ていたパッカー車が停止してくれ、右側からの車両はガードマンが止めてくれたので発進しようとしたら、左側パッカー車の後続車が自車の前を勢いよく通過した。	状況判断を早まらない。道を譲られたとしても、周囲の確認をしっかりと行ってから発進する。
13	一般道路の交差点で (足立区)	トラック運転中	信号が青だったので直進しようとしたら、自転車が信号を無視し、飛び出して来た。	信号が青でも、左右の確認はしっかり行う。

ヒヤリ・ハット事例

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
14	現場で	廃棄物置場へ収集車両をバックで進行中	通常では、駐車のない場所に車が止まっていた。駐車場へ進入する前に確認していたので良かったが、気付かなければ危うく接触するところだった。	通常という固定観念にとらわれず、周囲の状況確認はしっかり行う。
15	一般道路で (青戸)	左側車線を走行中	右側車線を走行していた4tトラックが、ウインカーを出すと同時に突然車線変更してきた。ブレーキとハンドル操作で回避できたが、危うく事故になるところだった。	周囲の状況は常に確認すること。
16	一般道路の交差点で (目黒区)	右折の信号待ちをしている時	右折の矢印信号が点灯したので発進しようとしたら、目の前に宅配便の自転車が急に飛び出してきた。	信号が青に変わっても、まず前後左右の確認をしっかりと行ってから発進する。
17	一般道路で (北区田端)	交差点の信号待ちをしている時	信号が青に変わり発進しようとしたら、タクシーが目の前を通過した。	信号が青に変わっても、周囲の安全確認をしっかりと行ってから発進する。
18	高速道路で (勝島)	本線を走行中	高速道路入口の合流車線から進入してくる車があり、減速して前を譲ったが、進入車両に突然ブレーキを踏まれ、衝突しそうになった。車間距離を十分にとっていたので事故にはならなかったが、危うく大惨事になるところだった。	自分の感覚だけで運転せず、周囲に十分気を遣った運転を心掛ける。
19	一般道路で	大通りの右折車線で信号待ちをしている時	前車が右折し始めたので、右折の矢印信号が点灯したのかと思い交差点へ進入しようとしたら、対向車線から直進車が向かってきて、慌ててブレーキを踏んだ。すぐに信号を確認したら、直進優先の青信号だった。	前車の動きに惑わされ周囲の確認を怠り、思い込みの運転をしてしまった。周囲の状況は常に確認をとり、思い込み運転をしない。
20	一般道路の交差点で (駿河台)	左折しようとした時	歩行者用信号が赤になったので発進しようとしたら、左側から歩行者が走ってきた。	信号が変わっても、左右の安全確認は怠らない。
21	一般道路の交差点で (新宿)	左折しようとした時	信号が青に変わり、交差点へ進入しかけたら突然目の前を歩行者が横切り、急ブレーキをかけ難を逃れた。	信号が変わったからと直ぐに発進せず、周囲の安全確認は必ず行う。
22	高速道路の入口付近で (江戸橋)	一般道路にて待機中	信号無視をした自転車が、走行中のトラックと接触しそうな場面を目撃した。接触しそうになったのは自転車ではないが、第三者からしてもヒヤリとした。	交差点進入時は細心の注意が必要だと改めて感じた。
23	一般道路の交差点で (田端)	左折しようとした時	信号は青に変わったが、交差点をまだお婆さんが渡っていたので待っていた。一瞬目を離れた時に渡りきったと思い込み発進しようとしたら、まだ目の前を歩いていたのでヒヤリとした。	思い込み運転をせず、周囲の確認はしっかり行い、気持ちにゆとりを持った運転を心掛ける。
24	一般道路で (大久保)	右折しようとして交差点へ進入しかけた時	左側の車線から、突然自車の前に乗用車が車線変更してきた。急ブレーキを掛け、難を逃れた。	事故を防ぐ為、周囲の車にもっと注意を払う。
25	工場 (千葉)	汚泥の入っているドラム缶を手で斜めにして転がし、車両のパワーゲートを使ってトラックに積込む作業をしていた時	汚泥入りのドラム缶と空のドラム缶と一緒に置いてあったので、空のドラム缶に汚泥が入っていると勘違いし、思いきり缶を引っ張ったらドラム缶ごと後ろに倒れてしまった。	ドラム缶の中身の有無を確認し、汚泥入りと空のドラム缶を分けて置くこと。移動する場合には、フォークリフト等を使用する。
26	現場で	引越し作業の為、大型家具を2人がかりで玄関から搬出しようとした時	玄関口に段差があったが、その上に玄関マット(養生材)を覆い被せてしまい、段差があることを忘れ、足を踏み外しそうになった。	養生実施の時は、段差等何らかの障害がある場合には、必ず注意表示を設けスタッフにも周知徹底させる。

ヒヤリ・ハット事例

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
27	一般道路で (府中)	走行中	前方のタクシーが、急ブレーキを掛け方向指示器も出さずに左折したので、衝突しそうになった。	都内のタクシーは特に、急ブレーキや割り込み等が多く危険である。車間距離を十分とるように心掛ける。
28	現場で	事務所移転の為、書庫を2人で台車に乗せようとした時	書庫の引き戸が固定されていないことに気付かないまま、斜めに倒し台車に乗せようとしたら、引き戸が動き手を挟まれそうになった。	荷物を運ぶ時は、まず戸やその他の動きそうな物が、テープや紐で固定されているかを確認し、作業前には作業員全員に確認させる。
29	有料道路の料金所で	E T Cゲートを通しようとした時	自車の前を走行していた車両がE T Cゲートを通過する時に、バーが上がらなかったよう急停車した為、衝突しそうになった。	ゲート前では徐行運転をし、「前車通過するだろう」「バーは上がるだろう」ではなく、「前車が急停車するかもしれない」「バーが上がらないかもしれない」の「・・・かもしれない運転」を心掛ける。
30	一般道路で (国道129号線)	直進するのに真ん中車線で信号待ちをしている時	左側車線に停車していた車が、信号が変わると同時に勢いよく自車の前に割り込んできて、接触しそうになった。	信号待ち後の発進は、少し時間をおいて“ゆとり”を持った運転を心掛け“かもしれない”運転で常にKY心を持つ。
31	現場で	荷降ろし作業中	自分がダンプのあおりを開ける前に、運転手がダンプアップをしてしまい、危うく積み荷の下敷きになるところだった。	ダンプの死角に入ることは避け、声掛けをしてから開閉作業にあたる。
32	現場で	受入れショベル運転中	バックしたら人がいた。	ミラーだけでなく目視を確認をし、声掛けで人払いも行う。(ショベルのバックブザーを聞こえやすいように大きいものに変えた。)
33	一般道路の交差点で (立川)	赤信号の為、信号待ちをしている時	信号が青になったので左折しようとしたところに、後方からオートバイが自車の脇を通り抜けようと接近した為、オートバイの後方部のマフラーが接触し相手方が転倒、向かい側までスリップして自転車の第三当事者と衝突した。	事故の原因は、自車が左折する際の左後方の安全確認を怠った事と、相手方が無理に内側の追越しをした事である。今後は十分注意する。
34	マンションの駐車場内の清掃施設で	収集作業を行っている時	収集作業が終わり、運転席に乗り込みドアを閉めようとしたら、ルームミラーにバイクが映っていた。ドアを閉めるのが少しでも遅ければ、危うく接触するところだった。	後方確認した後でも、ドアの開閉は常に注意を払うよう心掛ける。
35	一般道路で (東久留米市)	走行中	1. 前方車両がハザードも付けずに急停車した。2. 目の前を自転車横断した。3. 譲ってもらった車両の後方から別の車両が出てきた。4. 歩道を走行していた自転車が突然車道に飛び出てきた。	常に心掛けていることをさらに注意し、自分以外でも危険事項等があれば参考にし、安全運転を心掛ける。
36	一般道路で (新青梅街道)	走行中	前車が急にブレーキを掛け、ウインカーも出さずに右折した。	もう少しスピードを落とし、車間距離をあける。
37	現場で	車両の誘導をしている時	自分の死角から自転車が飛び出てきた。	死角はできる限りなくし、周りに気を配る。
38	一般道路で (西東京市)	大通りを走行中	脇道から出てきた車が、こっちを見て気付いたのにもかかわらず飛び出てきた。	お互い常に細心の注意を払い、ある程度相手の行動を予測しながら運転をする。
39	公園近くの交差点で	右折しようとしている時	直進車が途切れず、なかなか右折できなかったため、赤信号に変わったところで発進しようとしたら、直進車が信号を無視し目の前を勢いよく通過した。	信号が変わっても、すぐに発進せず周囲の確認を怠らない。

ヒヤリ・ハット事例

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
40	一般道路の交差点で	トラック運転中	早めにウインカーを出し左折しようとしたら、左脇に二輪車が入ってきて巻き込みそうになった。	右左折する場合は、安全確認をしっかりとる。
41	一般道路で (東久留米市)	運転中	車道を走る自転車を追い越そうとしたら、急に自転車が反対車線の方に動き、接触しそうになった。	追い越す場合などは、速度を落とし十分に注意する。
42	一般道路で	走行中	歩道を走っていた自転車が、後方の確認もせず急に車道へ進路変更してきて、慌ててハンドルを切った。	歩行者や自転車は突飛な行動をとるので、近くを走行する時は特に注意する。
43	自社営業所の入口で	運転中	午前中の収集作業が終わり、社内へ入ろうと左ウインカーを出し、道路の左側に車を寄せていたにもかかわらず、原動付自転車が強引に自車を追い越そうと左側の隙間に入ってきて、接触しそうになった。	どんなに交通規制を守り運転していても“万が一”があることを認識し注意を払わなければならない。
44	一般道路で	運転中	他社の収集車両が中間処理場から道路へ出ようとしている時、自車の収集車両を見て同じ工場へ入るものと思い込んだのか、自車の前に突然入ってこようとした。	ドライバーは、次に起きることを様々考えるだろうが、思い込みは危険。周囲の状況はよく確認してから行動する。
45	工場内	バキューム車にて廃油をドラム缶から抜いている時	ドラム缶の上に、ホースレンチを置いたまま缶の底を吸うため斜めにしたら、缶の上からホースレンチが落ちてきた。	ドラム缶の上には物を置かない。
46	一般道路の交差点で (港区麻布)	片側三車線ある道路の、真ん中の直進車線を走行中	右側の右折車線から、突然自車の直進車線へ割込んできた。相手の車はウインカーも出しておらず、もしかしたらと予測できたので事故にはならなかったが、危うく接触するところだった。	交差点通過時の直前直後は、思わぬ車線変更が多々あるので、今後も十分に気を付ける。
47	高速道路で (四ツ木)	走行中	分岐する直前に、強引に割り込みをされて追突しそうになった。	予めスピードを落とし、割込まれても事故に繋がらない「ゆとりある運転」を心掛ける。
48	一般道路で (西新橋)	走行中	前方走行中のタクシーが、ウインカーも出さずに突然ブレーキを掛け、停車した。	車間距離を十分にとり、余裕をもった運転を心掛ける。
49	一般道路で (世田谷区)	走行中	前を走行中のタクシーが二重駐車して停車した為、仕方なく車線変更をして通過しようとしたら、タクシーの前に停車していた車が、自車の前に飛び出してきた。	車線変更をする時は、後方の確認は勿論のこと、前方にも十分に注意を払い、ゆっくりと行う。
50	一般道路の交差点で (品川区)	通過しようとした時	信号が青だったので直進しようとしたら、対向右折の大型トラックがノーブレーキで突っ込んできた。急ブレーキを踏んで停止できたが、危うく衝突するところだった。	信号が青だからと油断せずに、安全確認を怠らない。
51	高速道路の入口付近で (入谷)	右折二車線の左側車線より高速の入口へ進入しかけた時	右側車線を走行していた車が、ウインカーも出さずに突然自車の前を横切り、強引に一般道路の車線へと変更して行った。	高速道路への入口が二車線あっても、できるだけ右側の車線より進入する。
52	一般道路で (豊島区)	交差点の5 m手前を走行中	信号が黄色に変わったら、前車が急ブレーキを掛け停車した。急停止するとは予想もせず、自分も慌ててブレーキを踏んで回避できたが、もう少しで衝突するところだった。	思い込み運転をせず、周囲の状況は常に把握し、車間距離を十分にとって走行する。

ヒヤリ・ハット事例

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
53	一般道路の交差点で（中央区）	左折しようとした時	歩行者用信号が赤になったので周囲の確認をして発進しようとしたら、遠くの方にいた自転車が猛スピードで接近し、信号を無視して自車の前を通過した。	歩行者や自転車が確認できた場合は、距離が遠くても何度も確認し、飛び出してきた時の為に備えて、ゆっくり通過する。
54	一般道路の交差点で（葛飾区）	右折待ちをしている時	右折専用の矢印信号が点灯したので発進したが、自車の前の車で信号が黄色に変わってしまい、急いで渡ろうと考えていたのに前車が停止した為、追突しそうになった。	今回に限らず、いくら急いでいたとしても、ゆとりを持った運転をするように心掛ける。
55	高速道路で	合流車線を走行中	自車の前を譲ったら、車両が二台も入ってきた。強引な割り込みをされた為、接触しそうになりヒヤリとした。	車間距離を十分にとる。
56	一般道路の交差点で（駿河台）	左折しようとした時	歩行者用の信号が赤に変わったので発進しようとしたら、歩行者が走ってきて赤信号を横断した。	信号機の色が変わっても、周囲の状況はよく確認し、ゆっくり通過する。
57	一般道路で（荒川区）	3 m幅の道路を30 kmの速度で走行中	交差点に差し掛かり青信号を確認したが、脇から自転車が飛び出してきて、赤信号を無視して目の前を通過したので、慌ててブレーキを踏んだ。	信号だけを頼りにせず、周囲の確認と注意はしっかりと行う。
58	高速道路で	料金所をETCシステムで通過しようとした時	右側から二輪車が接近してきたので、危険を察しブレーキを踏んだら、自車の目の前を左側へ横切って行った。	ETCシステムで料金所を通過する時は、20 km以下まで減速し、周囲の安全確認を怠らない。
59	一般道路で	左側車線を走行中	右側車線より、車間距離もあけずにタクシーが車線変更を強引にしてきて、ハザードランプも点けずに自車の前で急停車した為、衝突しそうになった。	前方にタクシーが走行している場合には、いつでも停車できるよう車間距離を確保して運転する。
60	一般道路で（品川区）	走行中	前方を走行中の大型ダンプカーが、突然急ブレーキを掛けた。脇見運転をしていたのかは不明だが、車間距離をあけていなければ、衝突するところだった。	大型車両の後を走行するのは、前方の状況確認がしにくく、車間距離の重大さを感じた。割込まれても腹を立てない精神で車間距離を保ちたい。
61	高速道路で（浜崎橋）	片側二車線の道路を走行中	ウイinkerを出して車線変更しようとしたら、二輪車が自車のすぐ横をすり抜けて行った。	注意不足によるものであり、次からは行動を起こす前に安全確認を十分に行う。
62	一般道路で（埼玉県）	夜の交差点で、右折の信号待ちをしている時	青に変わったので発進しようとしたら、無灯火の自転車が信号を無視して目の前を通り過ぎた。	走り始めには、十分な確認と注意が必要である。
63	一般道路で（足立区）	走行中	両側にトラックが路上駐車しており、通過しようとしたら対向車と接触しそうになった。	原因は路上駐車しているトラックにあるが、もし事故を起こしたら責任は自分にあるので、通過時には最大の注意を払う。
64	一般道路で（荒川区）	走行中	路上駐車している車両の脇を通過しようと徐行していたら、後ろから自転車が自車の横を無理やり通ろうと接近してきたので、ヒヤリとした。	細い道路等で視野が悪い場所は、十分に注意をし速度を落として走行するように心掛ける。
65	自社作業場で	コンボの操作をしている時	旋回しようとしたら、作業員がすぐ側に立っていた。気付くのが早かったため事故はなかったが、接触するところだった。	重機の近くでは作業をしない。また、操縦している場合は、常に周囲の安全確認を怠らない。

ヒヤリ・ハット事例

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
66	高速道路で (大井南)	高速湾岸線東京港トンネル内を走行中	車線変更禁止にも関わらず、黄色いラインを割って自車の前にトレーラーが割込んできた。運良く渋滞中でスピードが出ていなかった為回避できたが、追突する寸前だった。	今以上に、周囲の状況・安全確認が必要。
67	一般道路で (鹿浜)	運転中	片側一車線の道路の両脇に大型トラックが駐車しており、その間をすり抜けようとしたら死角からフォークリフトが出てきて接触しそうになった。	障害物等で死角のある場合は、速度を十分に落として走行する。「~だろう」という思い込み運転をやめ、いつ何が飛び出してきても対処できる運転を心掛ける。
68	一般道路で (市原市)	山道を運転中	道路が狭く、対向車が普通車ででもすれ違うだけで一苦労するところに、正面からトラックが走行してきたのでヒヤリとした。速度を落としていたので、自車が脇に寄って道路を譲り回避した。	カーブの場所にはミラーが付いているので、早めに見て安全確認を行う。
69	一般道路で (足立区)	清掃トラックで、交差点の信号待ちをしている時	青信号に変わったので発進しようとしたら、斜め横から自転車飛び出してきて、自車の目の前を横切った。	信号が青に変わっても直ぐに発進せず、前後左右の確認をしっかりと行う。
70	一般道路で (上野)	片側三車線道路の、真ん中車線を走行中	左側車線を猛スピードで走行してきた車両が、自車の目の前に突然車線変更し、また直ぐに右側車線へと変更後、右折して行った。気付くのが遅かった場合や、後続車両がいたら避けきれなかったと思う。	周囲へは常に気を配り、たくさんの危険がある事を理解した上で、安全運転に努める。
71	一般道路で	デジタルタコグラフ積載車両にて運転中	信号のない合流ポイントで、スピードを出した車と衝突しそうになった。	合流地点では、合流する手前からスピード調整し、事故のないよう気を付ける。
72	一般道路で	夕方の人通りの少ない交差点を走行中	左折をしようとしたら、自転車猛スピードで横断歩道を横切った。薄暗かったので見えにくく、危なかった。	秋から冬にかけての時期は、予想以上に日暮れが早くなることを念頭に行動する。交差点ではスピードを出さず、ゆっくり走行する。